



# 2026年3月期 決算説明資料

株式会社 駒井ハルテック

証券コード：5915

2026年6月3日

# ■ 本日、皆さまにお伝えしたいこと

駒井ハルテックについて、覚えておいていただきたいこと

1

**創業140年以上の歴史**があり、**橋梁や大型ビルの鉄骨などを高精度で製造**して安全・安心な社会インフラの構築を支えている企業

2

既存事業で培った技術を活かして成長が期待できる**洋上風車タワー製造**に参入して**持続可能な社会への貢献**を目指している

3

**健全な財務基盤**を背景に**堅実な株主還元**を実施

 目次

1. 駒井ハルテックの **これまで** P. 4  
(会社概要・強み)
2. 駒井ハルテックの **いま** P. 14  
(業績推移)
3. 駒井ハルテックの **これから** P. 20  
(長期ビジョンと中期経営計画)

# 駒井ハルテックの **これまで**

(会社概要・強み)



## 経営理念

高い技術力で夢のある社会づくりに貢献する

商号	株式会社駒井ハルテック（英訳名 KOMAIHALTEC Inc.）
設立	1883年（明治16年）創業
本社所在地	東京都台東区上野一丁目19番10号
従業員数	618名（2026年3月末・連結）
資本金	66億1,994万円（2026年3月末）
事業内容	【橋梁事業】 橋梁の設計・製作及び現場架設、鋼橋の現場工事の施工及び維持補修 【鉄骨事業】 鉄骨・鉄塔の設計・製作及び現場建方 【インフラ環境事業（再生可能エネルギー・海外インフラ事業）】 風力発電システム及び太陽光発電システムの設計、製作、施工
関連会社	【連結子会社】 東北鉄骨橋梁(株) …………… 鉄骨・橋梁 (株)シップス …………… 印刷・不動産 KHファシリテック(株) …………… 鉄骨・橋梁

# 沿革

## 創業以来、歴史的な建造物や橋梁の製造に携わり、インフラ構築に貢献

### 駒井鉄工株式会社

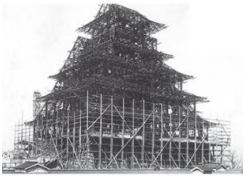
1883 創業



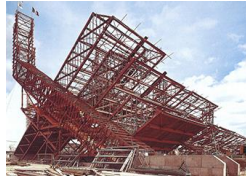
1914年  
紀の川橋梁  
(現 河合橋)



1921年  
初代通天閣



1931年  
大阪城天守閣



1970年  
大阪万博  
(イタリア館)

1963年  
京都タワー



1984年  
南備讃瀬戸大橋



1991年  
大阪ワールド  
トレードセンター



1994年  
大阪ドーム



### 株式会社ハルテック

1921 創業



2012年  
三重大学



2023年  
西普天間橋梁



2023年  
役内川橋

### 2010 合併により設立

### 株式会社駒井ハルテック

2012年  
東京スカイツリー®



2016年  
長谷大橋



2019年  
国立競技場  
大成建設株式会社様提供

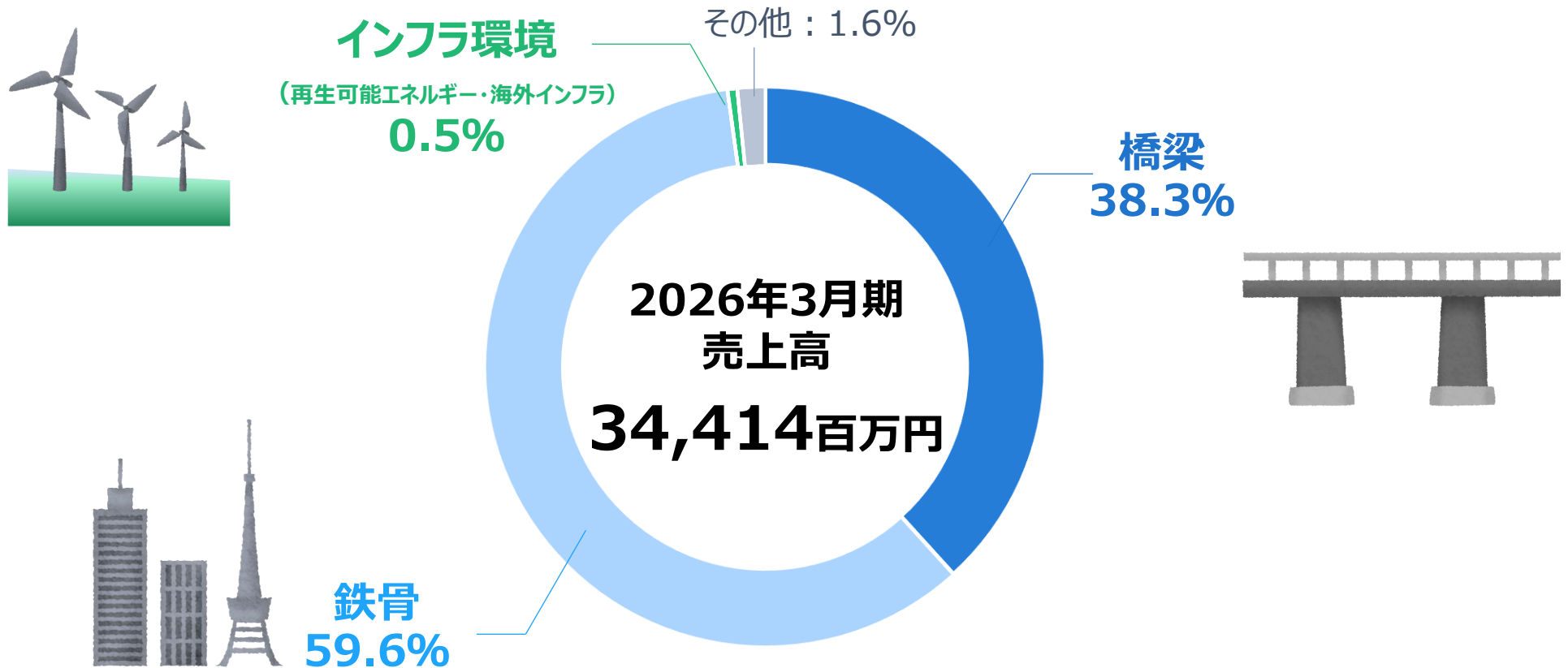


2020年  
三浦市宮川公園

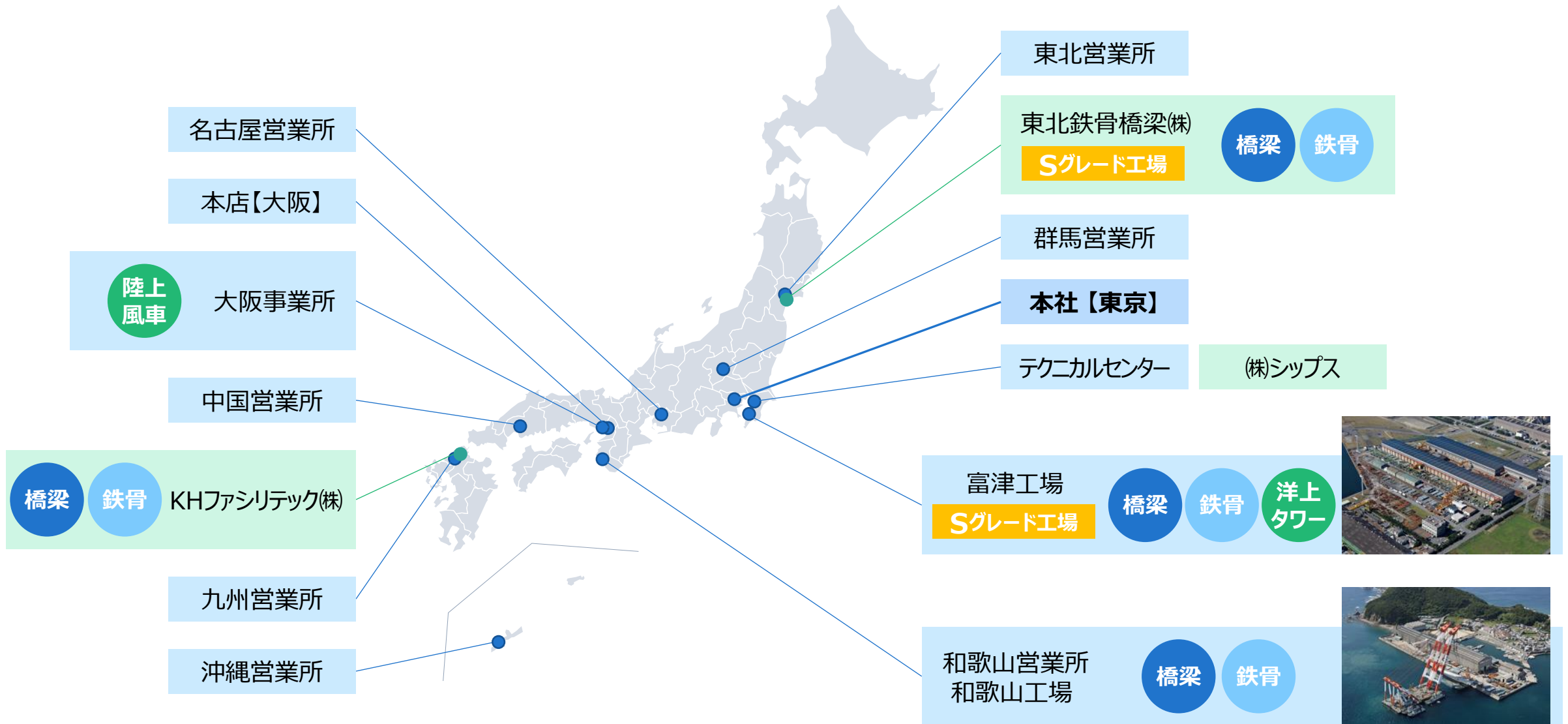


## 売上構成

「橋梁」と「鉄骨」のコア事業を収益源とし、成長事業である「インフラ環境事業」への投資を推進



# 事業所・工場



# 駒井ハルテックの事業を支える技術

災害に強い都市の骨格を支える ～鋼構造技術のリーディングカンパニー～



## 高強度・極厚鋼材の溶接技術

溶接部の品質制御により、高強度・極厚鋼材に対する高度な溶接技術を保有  
鋼構造物における優れた耐久性と安全性を確保

## 都市空間を支える製作技術

耐震・制震・免震装置を支える鋼構造物の高度な製作技術により、建築物の安定性と信頼性を高め、安心して暮らせる 都市空間の形成に貢献

## 都市の未来を形にする技術提案力

設計初期段階からの技術サポートや、仕様変更への柔軟な対応力が強み  
また、DXによる品質管理の高度化を進め、効率と品質の両立を実現、最適なソリューションを提案

# 駒井ハルテックの事業を支える安全対策

全従業員の総力を結集し、安全衛生活動の活性化を図っています

## 建設現場の問題

- 国内産業界の労働災害発生件数は高水準で推移
- 橋梁・鉄骨の現場では重大災害が発生

## 当社グループの安全への取り組み

- 安全衛生方針である「人命尊重」を基本理念とした事業活動
- DX技術を活用した橋梁・鉄構の現場作業の見える化推進

### 現場の安全への取り組み

施工前	受注時	新規受注工事検討会にて工事内容の把握、問題点の洗い出し
	施工計画立案時	施工方法・仮設構造物の確認
	施工計画審査	工事着手前の計画確認
施工時	作業手順会	主要工種の施工前に作業員全員に対し作業方法の周知
	店社パトロール	現場施工期間中の安全パトロール（施工計画の実施状況確認）



安全集会

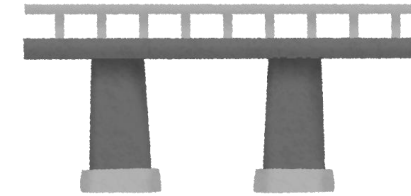


安全パトロール

## 橋梁

## 業界トップクラスの橋梁メーカー

- 耐震補強・老朽化等の補修・補強工事でも、安心・安全な社会づくりに貢献
- 近年は鋼橋分野だけでなく、鋼・コンクリート複合橋梁や老朽化した橋梁の長寿命化のための予防保全工事などにも積極的に取り組む



## 市場環境

- 橋の新設・メンテナンスを含む土木工事需要の増加
  - 国土強靱化策に伴い高速道路・鉄道などの橋梁工事の増加
  - 高度成長期に建設された橋梁のメンテナンス需要が増加
  - 大阪湾岸道路西伸部や高速道路の4車線化などインフラ整備が進行中



## 橋梁建設のワンストップソリューション

積算から現場施工まで橋梁建設のすべてを担う

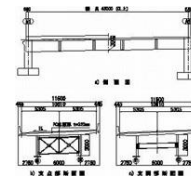
積算

設計

材料手配

工場製作

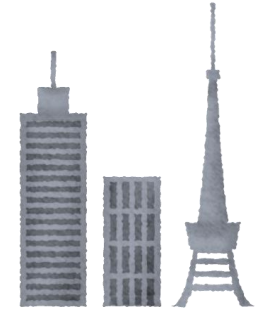
現場架設



## 鉄骨

## 国内随一の溶接技術で鉄骨ファブリケーター業界を牽引

- 鉄骨製作工場性能評価最高位の「Sグレード」認定工場を2工場有する官公庁庁舎や超高層オフィスビル鉄骨製作のトップメーカー
- BIM設計、製造、施工まで、すべての工程を担うことが可能
- 鋼板板厚70mmのサブマージアーク溶接※ 1パス施工を国内で唯一実現できる高度な溶接施工技術を保有し、客先からの絶大な評価により大型案件を受注



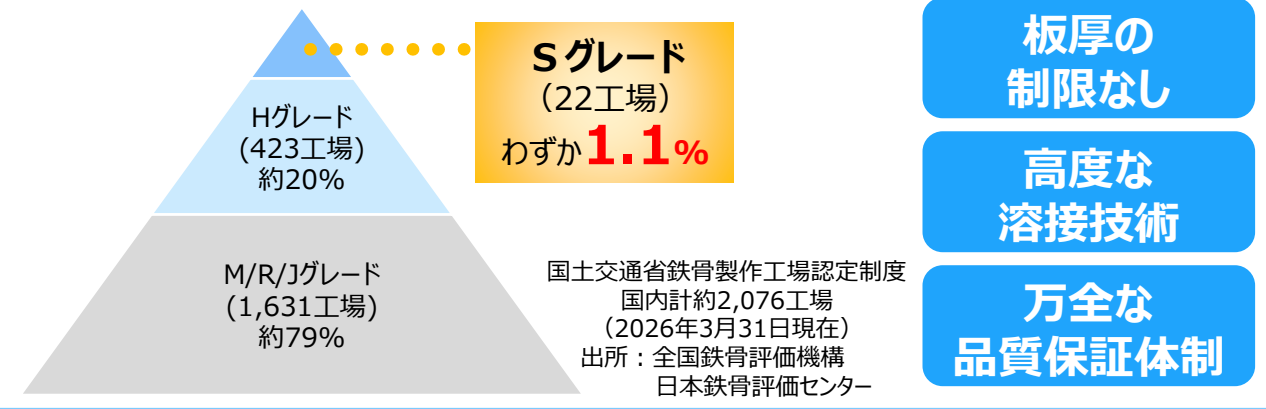
## 市場環境

## ■ 高度な技術を要する大型案件の増加

- ・ 日本橋、八重洲、大手町、品川、新宿、六本木などで再開発超高層ビル建設が、今後目白押し
- ・ 高度成長期に建設された建造物の維持管理、大型免震構造需要が増加
- ・ 駅前再開発に伴う建築と土木が融合した鋼構造案件が増加

## 2工場でSグレード認定を取得し大型案件に参画

高度な技術を有する超高層ビルの鉄骨製作が可能なのは  
Sグレード認定工場のみ



※ サブマージアーク溶接（submerged arc welding）アーク溶接の一種、粒状のフラックス（融剤）と溶接ワイヤを使用する溶接工法。弊社は70mmの板厚を1パス（1度）の溶接で施工が可能、高効率で溶接品質が安定しているのが特徴。

インフラ環境  
(再エネ・海外インフラ)

## 唯一国内で風車製造、電力需要に合わせた地域マイクログリッドに対応

- 橋梁・鉄骨事業で培った高度なノウハウを活かし、日本の風土に適した風力発電システムを製造、建設、20年の実績
- 風況調査から建設工事、保守点検まで、トータルソリューションを提供
- 離島のマイクログリッドにも対応



### 市場環境

#### ■ 風力発電のニーズが増加

- ・ 環境にやさしいクリーンなエネルギー
- ・ 政府による導入目標の明示
- ・ 大量投入・コスト低減・経済波及効果期待など

#### ■ 中型風車のニーズが増加

- ・ 離島や日本に多い山岳地にも対応可能
- ・ 大型に比べて建設が容易

など

### 過酷な地形・気象条件に適した風車の開発

大型機が導入できない離島や遠隔地での導入が可能

#### 中型風力発電機「KWT300」開発

- 台風仕様
- 標準仕様
- 寒冷地/極寒冷地仕様



台風や乱気流に強い

高い輸送効率と施工性

電力システムへスムーズに接続

- ・ 世界でも類を見ない毎秒90mの耐風速を実現
- ・ 厳しい気象条件下で安定した性能を発揮

# 駒井ハルテックの **いま**

(業績推移)



# ハイライト

## 2026年3月期

売上高

**34,414** 百万円

対前期増減率  $\Delta$ 15.1%

営業利益

**470** 百万円

対前期増減率 +63.3%

親会社株主に帰属する当期純利益

**335** 百万円

対前期増減率  $\Delta$ 73.7%

決算の  
ポイント

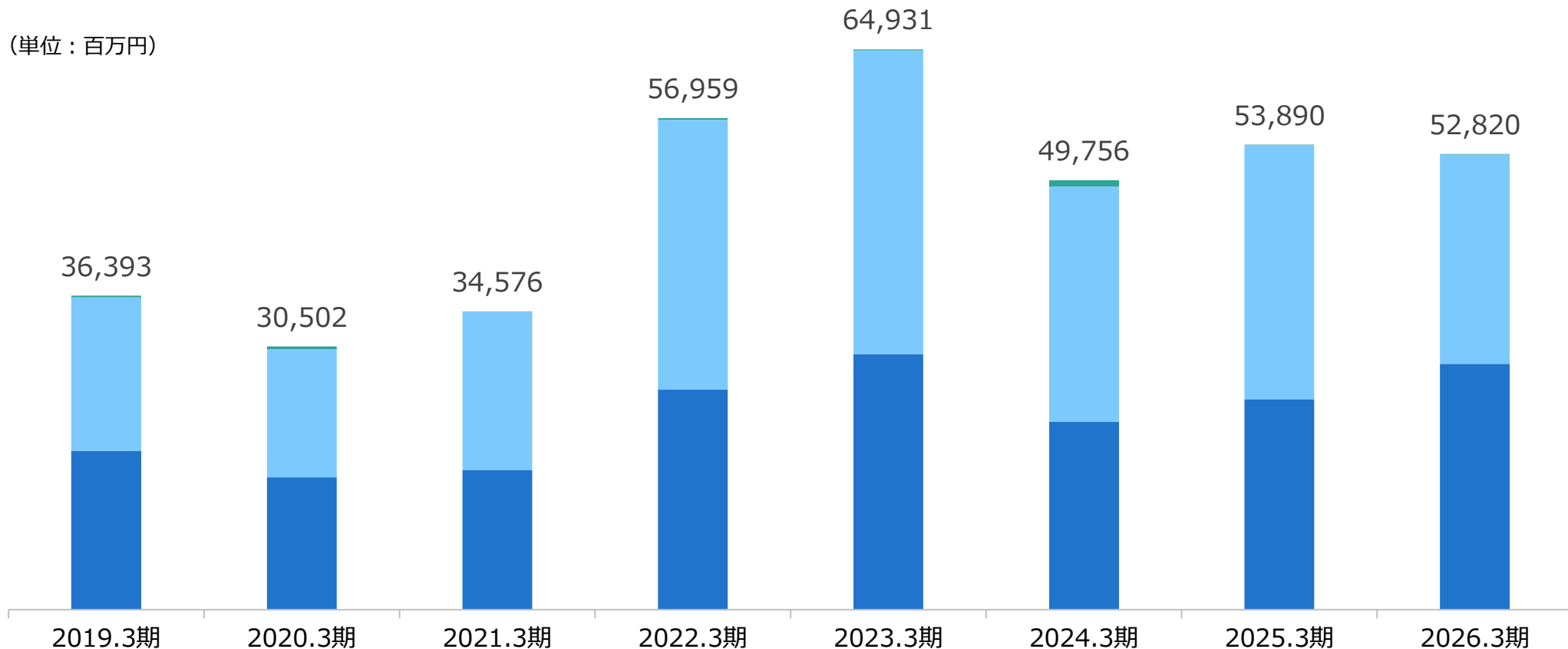
- 売上高は、橋梁事業の発注案件の減少や鉄骨事業の建設投資の抑制・再開案件の停滞等により前期比減少
- 営業利益は、橋梁事業の一部大型工事において追加変更契約の獲得や収益管理の徹底により前期比大幅増加
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、前期の投資有価証券売却益の計上の影響し前期比大幅減少

## ■ 受注残高の推移

橋梁事業は民間工事を含む積極的な営業活動により受注残高増、  
鉄骨事業は鉄骨需要の低迷が影響し受注残高減

■ 橋梁 ■ 鉄骨 ■ インフラ環境 ■ その他

(単位：百万円)



# 損益計算書

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期			
	実績	実績	対前期増減率	2025年5月13日発表 業績予想	業績予想比増減率
売上高	40,553	34,414	△15.1%	34,000	+1.2%
営業利益	288	470	+63.3%	90	+423.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,274	335	△73.7%	180	+86.4%
1株当たり当期純利益	272.77円	72.30円	△73.5%	38.52円	+87.7%
ROE	4.0%	1.0%	△3.0Pt	—	—
受注高	44,155	32,799	△25.7%	—	—
橋梁事業	18,433	17,281	△6.3%	—	—
鉄骨事業	25,622	15,328	△40.2%	—	—
インフラ環境事業	98	189	+91.8%	—	—
受注残高	53,890	52,820	△2.0%	—	—
橋梁事業	24,388	28,498	+16.9%	—	—
鉄骨事業	29,441	24,262	△17.6%	—	—
インフラ環境事業	60	59	△1.3%	—	—

# セグメントごとの売上高及び利益の状況

(単位：百万円)

	2025年3月期	2026年3月期			
	実績	実績	対前期増減率	2025年5月13日発表 業績予想	業績予想比増減率
売上高	40,553	34,414	△15.1%	34,000	+1.2%
橋梁事業	15,856	13,170	△16.9%	13,400	△1.7%
鉄骨事業	23,452	20,508	△12.6%	19,600	+4.6%
インフラ環境事業	712	190	△73.3%	500	△62.0%
その他	531	544	+2.4%	500	+8.9%
セグメント利益又は損失	288	470	+63.2%	90	+423.2%
橋梁事業	2,560	2,151	△16.0%	—	—
鉄骨事業	△104	873	—	—	—
インフラ環境事業	△459	△599	—	—	—
その他	△1,708	321	—	—	—

※ その他は、不動産事業及び調整額を含む

ポイント

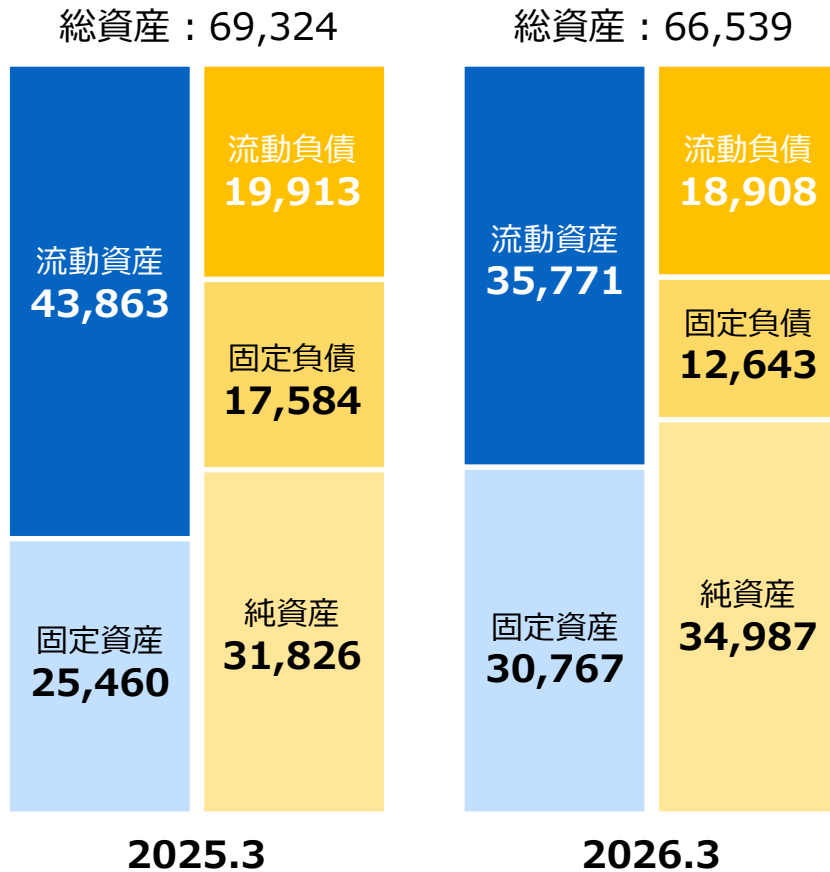
- 売上高については、各セグメントとも減少傾向にあった
- 橋梁事業のセグメント利益減は売上高減によるものである。鉄骨事業では、収益管理を徹底したことによりセグメント利益は前期比増となった

# 貸借対照表

新規事業開発と株主還元能耐うる健全な財務体質を有している

## 貸借対照表

(百万円)



(単位：百万円)	2025年3月期	2026年3月期
流動比率	220%	189%
固定比率	79%	88%
自己資本比率	45.9%	52.6%

# 駒井ハルテックの **これから**

(長期ビジョンと中期経営計画)



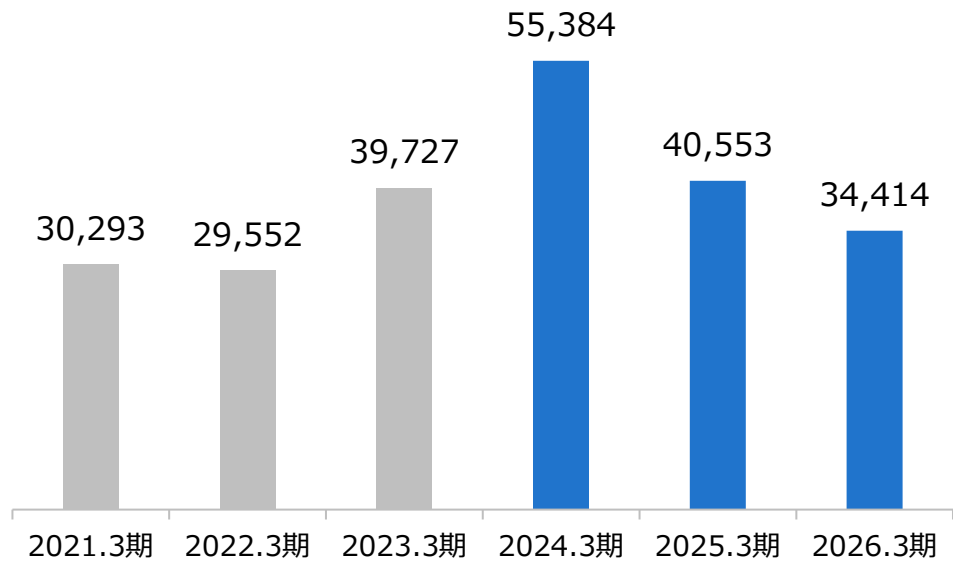
# ■ 中期経営計画2023の振り返り（1）

橋梁発注量の下振れ、都市再開発案件の後ろ倒し、陸上風車受注のずれ込み等を背景に新たな経営課題を認識

いかなる環境変化にも対応できる経営体質の強化を推進

## 売上高

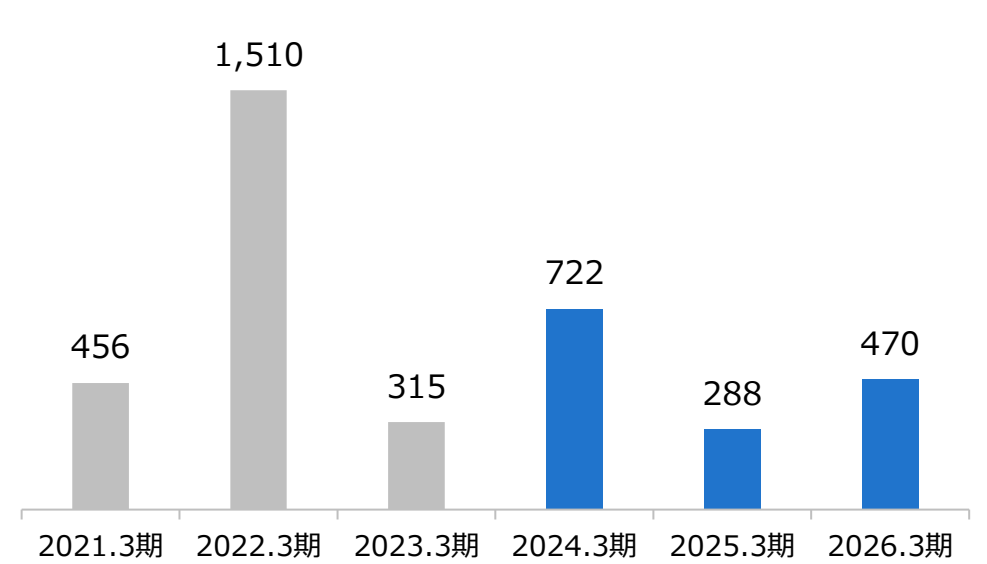
(百万円)



中期経営計画2023

## 営業利益

(百万円)



中期経営計画2023

## ■ 中期経営計画2023の振り返り（2）

洋上風車タワー製造に係る新規事業開発費用がかさんでいるが、ベース利益と言える新規事業開発費を除く営業利益は14.7億円（2026年3月期）まで増加  
中期経営計画2023見直し計画に従い、構造改革を着実に展開

### 新規事業開発の状況

■ 設備投資総額 8,700 百万円

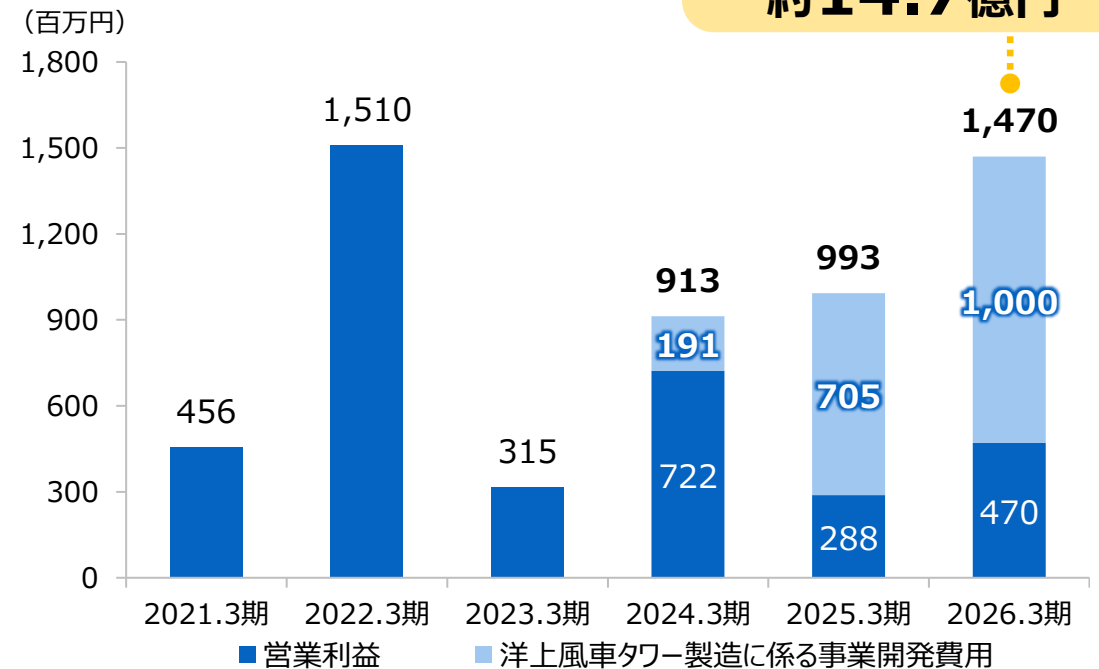
#### 洋上風車タワー製造専用ライン

- ・ 大口径鋼管溶接システム
- ・ 板曲げ加工機
- ・ AIを活用した非破壊検査システム
- ・ ブラスト・塗装ロボット 等

■ 洋上風車タワー製造に係る研究開発費

- ・ 2024.3期 191 百万円
- ・ 2025.3期 705 百万円
- ・ 2026.3期 1,000 百万円

### 営業利益



新規事業関連費用を除外した営業利益  
約14.7億円

中期経営計画2023

# 事業環境の見通し

## 橋梁



- 新設橋梁：発注量：年間10万トン程度予想  
⇒ **熾烈な受注競争が継続する見込み**
- 既設橋梁：定期点検にて想定以上の劣化が確認  
⇒ **高速道路の大規模更新・修繕の発注が相応に見込まれる予想**

## 鉄骨



- 全国の鉄骨需要は足元で低調も、都内（東京駅周辺、赤坂・虎ノ門、品川、渋谷、新宿など）で**数多くの再開発や大型プロジェクトが予定**
- 建設計画の見直しや工期の後ろ倒しが相次いでいたが、**次第に着工される見通し**

## インフラ環境 (再エネ・海外インフラ)



- **GX2040ビジョン**（2026年2月閣議決定）において、2040年に向けた日本の「脱炭素 × 成長」国家戦略の設計図が示された  
※GX (Green Transformation)  
…脱炭素（カーボンニュートラル）に向けて、産業・エネルギー・社会構造を大きく変革すること
- 台風等災害の影響を考慮した日本型風車、工場等での自家消費電力としての**中型風車需要が高まる**
- 15～20年前に導入され寿命を迎える**風車のリプレイス市場への期待増**
- 第2次洋上風力産業ビジョンにて、**国内調達比率目標が65%に引き上げられ、フォローの事業環境**

# ■ 駒井ハルテックグループの将来像

## カーボンニュートラル社会の実現と安全安心な社会インフラの提供に貢献

### インフラ環境事業

陸上中型風車の設計からメンテナンスまでを提供し、  
地産地消のエネルギーを継続して届ける  
洋上風車タワーの生産合理化を推進し  
国内洋上風力市場でのシェア獲得を目指す



陸上風車事業



洋上風車タワー事業

### 橋梁事業

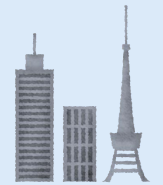
橋梁製作技術を承継するとともに  
保全補修にも積極的に取り組み  
安心安全な社会づくりに貢献する



### 既存事業

### 鉄骨事業

最高レベルの溶接技術で  
超高層ビル鉄骨のトップアプリケーション  
としての地位を堅持する



### 鋼構造物 製造技術

高精度  
溶接

特殊鋼材  
加工

耐震技術

防食塗装

三次元  
CAD

ロボット  
溶接

モジュール  
化

スマート  
ファクトリー

# ■ 中期経営計画2026の位置づけ

2030年3月期までの4年間で構造改革を加速して「新たな会社像」を目指す

**中期経営計画 2023**  
2024年3月期～2026年3月期

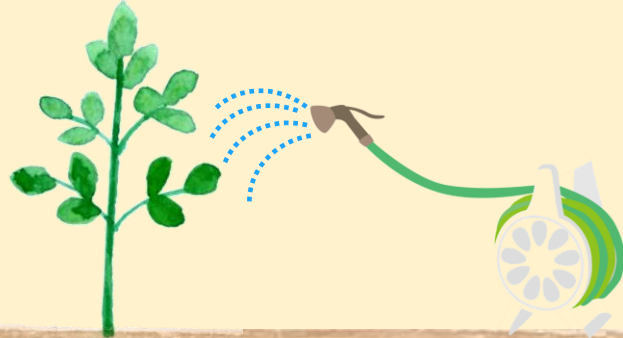
**構造改革に着手**



**これからのステージ**

**中期経営計画2026**  
2027年3月期～2030年3月期

**構造改革の加速と  
新たな会社像の追求**



**長期ビジョン**  
カーボンニュートラル社会の実現と  
安全安心な社会インフラの提供に貢献



# ■ 中期経営計画2026の基本方針

新たな会社像の実現

## カーボンニュートラル社会の実現と 安全安心な社会インフラの提供に貢献



### 事業ポートフォリオ 改革

新たな事業構成を構築

- 洋上風車タワーと陸上風車事業の成長
- 橋梁事業・鉄骨事業の事業規模の堅持
- 多様な鋼構造物製造への挑戦

### 構造改革 の施策



### 収益強化

連結営業利益20億円の  
収益基盤の構築

- 全セグメントでの黒字体質の定着
- 橋梁事業：受注活動強化、コストダウン
- 鉄骨事業：各種管理レベル強化



### 業務改革 (モノづくり改革)

業務の効率化と付加価値創造

- IT、DX、AIを駆使した安定した工場体制の構築
- 生産体制と製造設備最適化による生産性向上
- 業務フロー見直しと人材最適配置

### 構造改革を 支える基盤



### 人材強化

- 人材の社内流動化を進め、人材の活躍向上を推進
- 研修教育の充実、資格保有者増強など人材の質的向上
- 積極的な人材抜擢や登用等による、次世代人材育成の加速
- 組織改革等を通じた、人的資源活用度の引き上げ

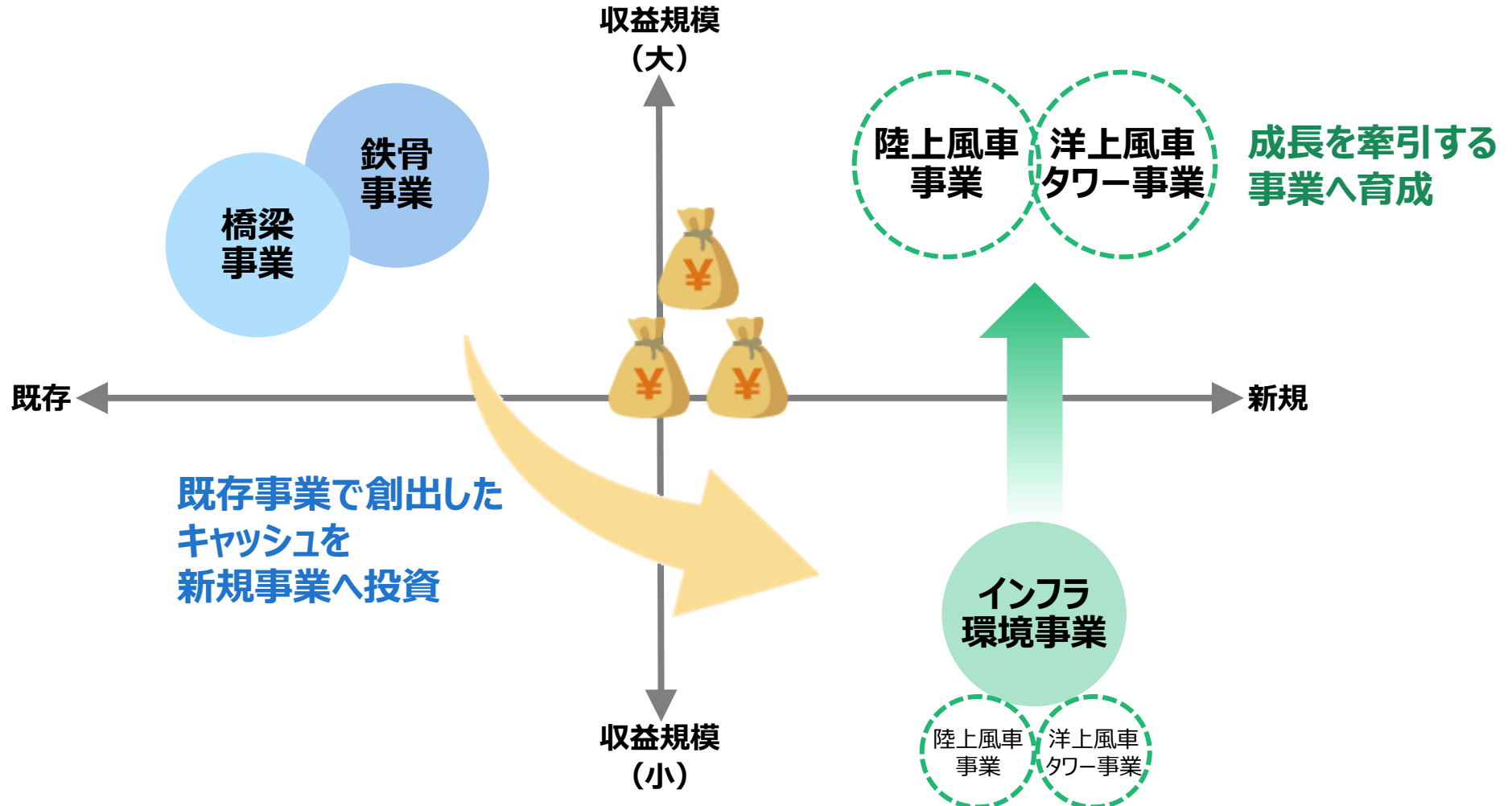
# ■ 中期経営計画2026の業績計画

(単位：百万円)

	2026年3月期 実績	2030年3月期 目標	
売上高	34,414	46,000	
橋梁事業	13,170	12,500	●●●●●●●● ■ 安定した生産量を確保
鉄骨事業	20,508	23,000	●●●●●●●● ■ 首都圏再開発計画
インフラ環境事業	190	10,000	●●●●●●●● ■ 陸上風車の販売拡大 ■ 洋上風車タワーの生産開始
その他	544	500	
営業利益	470	2,000	●●●●●●●● ■ 増益要因 ● 新規事業開発費用の消滅 ● 陸上風車のラインアップ拡充 ● 洋上風車タワーの生産開始
経常利益	817	2,000	■ 売上高営業利益率：4.3%
親会社株主に帰属する当期純利益	335	1,400	●●●●●●●● ■ 利益水準の押し上げ⇒ROE向上へ
ROE	1.0%	4.4%	■ 株主還元 ● 安定配当を基本 ● 業績の拡大に応じた増配を検討

# 事業ポートフォリオ改革

既存事業で創出したキャッシュをインフラ環境事業に投資し、早期事業化を図る



# セグメント別の事業戦略

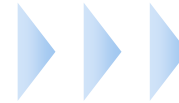
## 橋梁



### セグメント売上高

2026.3期  
実績

**131**億円



2030.3期  
目標

**125**億円

### 方針

- 民間工事、補修更新工事の拡大により売上高と利益を確保
- 発注量、受注状況、人員状況といった内外環境に適合した生産体制を決定

### 戦略テーマ

### 取組内容

#### 受注強化

- 技術提案の立案・検討体制を構築し、技術提案力強化を図る
- 技術営業力の強化により首都圏再開発案件等の受注強化を図る
- 新規事業開拓に取り組み、鋼構造物生産量の増大を図る

#### 橋梁補修更新事業の強化

- 大規模補修更新事業に向けた組織を立ち上げ、収益の増大を図る
- 中小規模補修工事の戦略受注により、実績と企業評価を積み上げる

#### 生産体制再構築

- 事業環境を踏まえ、柔軟に対応可能な全社的生産体制を構築する
- 生産設備への投資および更新による生産性向上を図る

#### 技術者育成と充実

- 次世代を見据えた人材の流動化を推進するとともに、補修更新事業の拡大に向け、人材の確保・育成に取り組む

# セグメント別の事業戦略



## セグメント売上高

2026.3期  
実績

205億円



2030.3期  
目標

230億円

### 方針

- 人材補強、設備投資、DX変革による生産体制強化を実現
- 出来高管理、収益管理の強化により、売上高及び収益を確保

戦略テーマ	取組内容
徹底した出来高計画の遂行	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産計画強化により、頻発する工程変動に左右されない生産体制を確立する</li> <li>・ 生産ラインの最適分割および効率化を進め、ボトルネック要因を排除する</li> <li>・ 追加変更迅速・柔軟に対応できる組織を構築し、顧客対応力強化を図る</li> </ul>
収益管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 契約内容の変動をいち早く把握し、先行原価の早期かつ確実な回収を図る</li> <li>・ 契約工程の締結を推進し、工程変動に伴う発生原価の回収力強化を図る</li> </ul>
組織強化と人材配置最適化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 技術力・収益力向上に向けた人材の育成・配置を行い、組織強化を図る</li> <li>・ 人材の流動化と次世代リーダーの人材育成に取り組み、持続可能な組織基盤を構築する</li> </ul>
工場設備投資と生産体制の再構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループ会社を最大限に活かした工場別の製作物選定を行い、生産性向上と収益力強化を図る</li> <li>・ 協力工場のグレード取得を推奨し、製造対応力を備えたサプライチェーンを構築する</li> </ul>

# セグメント別の事業戦略

インフラ環境  
(再エネ・海外インフラ)



セグメント売上高

2026.3期  
実績

1億円



2030.3期  
目標

100億円

方針

- 1MW風車の量産体制の構築
- 洋上風車タワーを新規事業として立ち上げ、売上高と利益の確保

戦略テーマ	取組内容
陸上風車受注強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内外のリプレイス需要に対応する</li> <li>・ JCM（日本と32のパートナー国の中で、日本の企業や政府が技術や資金の面で協力して対策を実行し、得られる温室効果ガス削減・吸収量を、両国の貢献度合いに応じて配分する仕組み）等公的資金活用による海外輸出への取り組み</li> </ul>
1 MW風車の認証取得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 MW風車の認証を取得し、標準仕様から台風仕様サイトまで対応する</li> <li>・ ナセル・ブレード・タワーの生産性向上を図る</li> </ul>
洋上風車向けタワーの生産体制構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タワー合理化生産ラインの設備を構築する</li> <li>・ 既存生産体制との融合による合理的な生産体制を構築する</li> </ul>
洋上風車関連の事業開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浮体式洋上風車の部品および鋼構造物の製造等への参画を目指す</li> </ul>

# キャッシュ・アロケーション

2026年度～2029年度の4カ年

営業キャッシュ・フロー

70億円

(運転資金増減を除く)

政策保有株式縮減  
補助金、借入等

株主還元

安定配当 + 業績拡大に応じた増配検討

成長投資・基盤強化

85億円

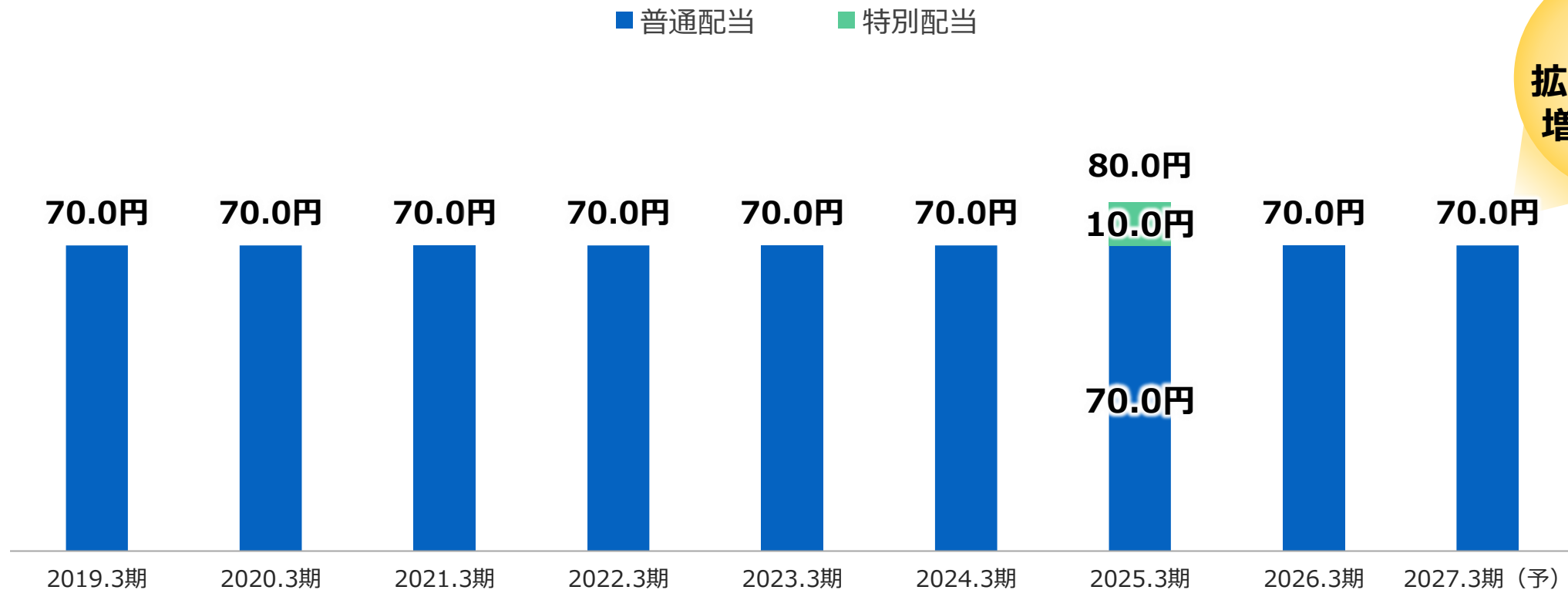
【主な内容】

- 風車事業の製造設備
- 橋梁と鉄骨の工場改革投資
- ICT・DX・AI投資、人財投資

# 株主還元

## 配当方針

- 競争力向上や事業拡大の投資を行いつつ、適切な還元を行う方針
- 現在の70円配当を基本とし、業績の拡大に応じた増配を検討
- 従来以上に配当への配慮を強める



業績の  
拡大に応じた  
増配を検討

# サステナビリティ

## 基本的な 考え方

- サステナビリティ基本方針に基づき、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献していく
- 中期経営計画の基本方針と連動し、環境・社会・ガバナンスの視点を経営に組み込んでいく

### 環境



カーボンニュートラル社会の実現に向けて、CO2排出量の把握と削減、再生可能エネルギー導入（洋上・陸上風車事業の推進）に取り組む

### 社会



自然災害対応強化(BCP等)、安全安心の社会インフラづくり  
人財開発(人材育成、D & I)  
労働安衛生向上に取り組む

### ガバナンス



コンプライアンス徹底、人権尊重、ガバナンス強化を通じて、経営の透明性と公正性を確保していく

# ■ 本日のまとめ

1

**創業140年以上の歴史**があり、**橋梁や大型ビルの鉄骨などを高精度で製造**して安全・安心な社会インフラの構築を支えている企業

鉄骨製作工場名表示	
鉄骨製作	株式会社駒井ハルテック
工場名	富津工場
代表者名	駒井 恵美
所在地	千葉県富津市新富33-10
認定番号	TFB S-214249

都内の超高層ビルの現場で見かけられたこと、ありますでしょうか？

2

既存事業で培った技術を活かして成長が期待できる**洋上風車タワー製造**に参入して**持続可能な社会への貢献**を目指している

3

**健全な財務基盤**を背景に**堅実な株主還元**を実施

お問い合わせ先

## 株式会社 駒井ハルテック

住所 〒110-8547 東京都台東区上野一丁目19番10号

TEL 03-3833-5101

この資料に掲載している情報の一部には、将来の業績に関する記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は環境の変化などにより、実際の結果と異なる可能性があることにご留意ください。